

機械器具 12 理学診療用器具
高度管理医療機器 白内障・硝子体手術装置 (70652000)

眼科手術用付属品

再使用禁止

(Gyro チップセット)

【警告】

1.使用方法

- (1) 超音波水晶体乳化吸引時、粘弾性物質が灌流液の流れを阻害することにより、超音波チップの冷却が不十分となって熱傷を引き起こす可能性がある。[「重要な基本的注意」の項参照]

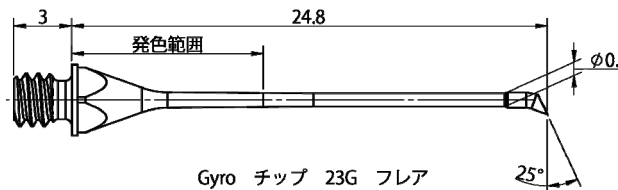
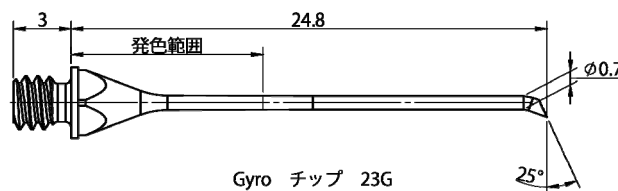
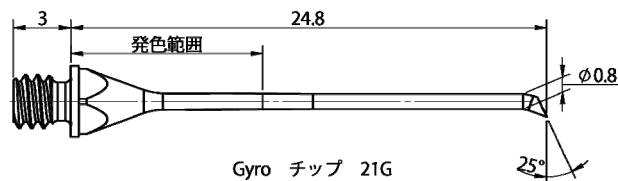
【禁忌・禁止】

1.使用方法

- (1) 再使用禁止
(2) 再滅菌禁止
(3) 包装の破損等により、製品の無菌性が損なわれていると考えられる場合には、使用しないこと。[感染症を招くおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

本添付文書は下記のいずれかの製品に該当します。



型番	名称	色
CVP01-0521	Gyro チップセット 21G	紫色
CVP01-0522	Gyro チップセット 21G フレア	
CVP01-0621	Gyro チップセット 23G	赤色
CVP01-0622	Gyro チップセット 23G フレア	

1.構成

ディスク超音波チップ、チップレンチ

2.体に接触する部分の組成

チップ全体 : チタン合金
チップレンチ : ポリサルフォン樹脂

【使用目的又は効果】

1.使用目的

本器具は白内障・硝子体手術装置のハンドピース先端部に取り付け、混濁した水晶体核を超音波振動を用いて破碎し、その破砕片を灌流液とともに吸引するための経路確保に使用します。

【使用方法等】

1.環境条件

周囲温度: +10~+35℃
相対湿度: 30~75% (結露なきこと)
気圧: 960~1060hPa

2.使用方法

- (1) 使用前に滅菌袋に破損等がないか、また使用期限内のものか確認します。
(2) バック包装を開き、滅菌済みの内容物を無菌的に取り出し、安定した場所に広げます。
(3) 手術装置を所定の操作方法に従って操作します。
(4) 使用後は、廃棄します。
詳細は手術装置付属の添付文書 (取扱説明書) を参照のこと。

【組み合わせて使用する医療機器】

- 本品は組み合わせて使用する機器があるので、詳細は (株) ニデック製白内障・硝子体手術装置の取扱説明書等を参照すること。
- 本品とスリーブ、ハンドピースは次表の組合せで使用する。[灌流と吸引のバランスがくずれ、予期しない結果を起こすおそれがある。正常な超音波発振が得られない。]

名称	適用スリーブ (色)	適用ハンドピース (品番)
Gyro チップセット 21G	ネオスリーブ (透明)	Gyro ハンドピース (18241-1700)
Gyro チップセット 21G フレア	マイクロネオスリーブ (薄紫)	
Gyro チップセット 23G	ウルトラネオスリーブ (ピンク)	
Gyro チップセット 23G フレア		

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 滅菌有効期限を確認の上、本器具を使用すること。滅菌有効期限は外箱及び個装に記載されている。[自己認証による]
- 本器具は再使用しないこと
- 1 症例につき 1 個を使用すること。[自己認証による]

【使用上の注意】

- ・使用する前に手術装置付属の添付文書(取扱説明書)を読み、安全に関する注意事項および使用方法について十分に理解すること。
- ・万一の本器具の故障に備えて、手術の際には本器具の予備を用意しておくこと。[添付文書及び取扱説明書の範囲外の使用により予期せぬ不具合・有害事象が発生するおそれがある。]
- ・樹脂製のチップレンチを使用する際は、チップレンチの破損に備えて金属製のチップレンチを用意すること。

1.使用注意(次の患者には慎重に適用すること)

- ・手術装置付属の添付文書(取扱説明書)を参照のこと。

2.重要な基本的注意

- ・手術に先立ち、予期される効果と有害事象等について患者に十分説明すること。
- ・術中は不用意に体(特に頭部)を動かさないように、患者に指示すること。

(1)前房内に粘弾性物質を注入して超音波乳化吸引術をする場合

- ・超音波水晶体乳化吸引術を行う前に吸引灌流を行い、水晶体と粘弾性物質との間に灌流液で満たした空間を作ること。[灌流不全となり、超音波チップによる熱傷を起こすことがある]
- ・次の場合にも熱傷が生じる可能性が高くなるので注意すること。
 - 1)超音波チップが水晶体核に十分打ち込まれ、吸引口が閉塞された状態が続く場合。
 - 2)灌流スリーブの灌流経路が阻害される以下の場合
 - ・超音波ハンドピースをたてすぎる。
 - ・超音波チップが創口の片側に寄り過ぎる。
 - ・その他、灌流スリーブ内の灌流液の流れを阻害する操作。

(2)取り扱い

- ・ディスク超音波チップを取り付ける際はチップレンチで、ハンドピースに確実に取り付けること。[チップレンチ以外を使用すると、ディスク超音波チップを正しく取り付けられず、正常な超音波発振が得られないばかりか、ケガをするおそれがある。]
- ・ディスク超音波チップの先端が硬いものに触れないようにすること。[チップが変形したり、金属粉が発生するおそれがある。]
- ・超音波発振中のディスク超音波チップに触れないこと。[ケガをするおそれがある。]
- ・超音波を発振する際は、設定値(US パワー、US モード、吸引圧、吸引流量など)を再確認し、発振中は絶えずディスク超音波チップの動きを監視すること。
- ・超音波の発振中は、灌流量と吸引量が十分に確保されていることを確認すること。
- ・超音波の発振中は、創口にディスク超音波チップを強く押しつけないこと。[創口付近が熱傷するおそれがある。]

3.相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)

【併用注意】(併用に注意すること)

- ・超音波を発振中、超音波チップ先端に他の医療機器(核分割用器具等)を接触させないよう注意すること。[超音波チップ又は他の医療機器が破損し、金属異物等の発生となる可能性がある]
- ・植込み型心臓ペースメーカ又はペースング機能を有する自動植込み型除細動器を使用している患者に超音波機能を使用する場合は、心臓外科医または植込み型心臓ペースメーカ又はペースング機能を有する自動植込み型除細動器の製造販売業者まで問い合わせること。
[他の電気機器の機能に影響を及ぼしたり機器自体を損傷したりするおそれがある。]

- ・患者に接触させて使用する他の機器との併用には注意すること。[電磁波等の干渉により危険な状況を引き起こすおそれがある。電気メスによる接触凝固等は、感電、熱傷をするおそれがある。]

4.不具合・有害事象

【その他の不具合】

- (1) 機械の故障
- (2) 異物の付着・混入
- (3) 破損

【重大な有害事象】[その他の有害事象]

手術装置付属の添付文書(取扱説明書)を参照のこと。

【保管方法及び有効期間等】

1.保管の条件

輸送/保管時

周囲温度：-10～+55℃

相対湿度：10～95% (結露なきこと)

気圧：500～1060hPa

2.貯蔵・保管

- ・水のかからない場所に保管すること。
- ・直射日光が当たらない場所に保管すること。
- ・振動、衝撃が加わらず、清潔で乾燥した場所に荷重の掛からない状態で保管すること。
- ・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する場所には保管しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社 ニデック

電話番号：0533-67-6151(代)